

ここで紹介するニュースは、ほとんどの場合、日頃からOS・アプリケーション・アンチウイルスのデータベース等を常に最新の状態に保つこと、併せて、UTM導入等によるネットワーク全体の防御を行うことで対策できます。

●大手ネット証券に多要素認証不要の「裏口サイト」、閉鎖予定も指摘を受け前倒し



<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2505/02/news111.html>

<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2505/01/news112.html>

<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2505/01/news156.html>

このニュースをザックリ言うと・・・

- 4月30日(日本時間)、ネット証券大手のSBI証券より、同証券の「バックアップサイト」を閉鎖することが発表されました。

- ネット証券各社で相次ぐ不正取引への対策として多要素認証(デバイス認証・FIDO認証)の設定を呼び掛けており、バックアップサイトの閉鎖もセキュリティ対策の一環としていました。

- 当初は5月30日に閉鎖予定としていましたが、発表と前後して、バックアップサイトの経由により多要素認証なしでログイン可能な仕様であることへの指摘、および閉鎖までのタイムラグが長いという批判があり、最終的には5月2日に前倒して閉鎖されています。

AUS便りからの所感等

- 同証券のパスワードポリシーは10~20文字かつ英数字と記号(2種以上)を必須としていますが、この条件を満たして記憶できるものなら10文字で弱いパスワードを設定したり、他のサイトと同じパスワードを使い回したりする可能性に注意し、可能な限り20文字のランダムなパスワードを設定することを考慮するならばパスワード管理アプリによる生成・保存も検討すべきです。

- SBI証券ではさらに、前述した多要素認証を5月31日に必須化することを発表しており、特にFIDO認証についてはフィッシングに対し効果的な対策が期待できることから、ユーザーにおいては直前になって慌てることなく、早い段階での対応を推奨致します(なおFIDO認証にはスマートフォンアプリが必須となり、スマホを持たないユーザーについて何らかの対応がなされるかも注目されるところです)。



SBI証券、バックアップサイトの終了を予告 「不正アクセス等を防止する観点から」

© 2025年05月01日 13時28分公開

[ITmedia]

SBI証券は、バックアップサイトの利用を5月30日をもって終了すると発表しました。「昨今確認されているフィッシング詐欺・不正アクセス等を防止する観点から」と説明している。



SBI証券のお知らせ (出典：SBI証券のWebサイト、以下同)

SBI証券、「バックアップサイト」終了を前倒しに ID・パスワードだけでログインできる点に批判

© 2025年05月01日 18時40分公開

[ITmedia]

SBI証券は、5月30日に予定していた「バックアップサイト」の終了を前倒しし、2日に閉鎖すると発表した。バックアップサイトを巡っては、セキュリティ上の懸念によって終了するにもかかわらず、閉鎖まで1カ月近くサービスを継続する点に批判が集まっていた。

バックアップサイトの終了に関するお知らせ (5/1更新)

2025/5/1

① お知らせ (5/1更新)

バックアップサイトのご利用につきまして、予定を前倒しし2025/5/2をもって終了とさせていただきます。ご利用中のお客さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、何とぞ、ご理解くださいますようお願い申し上げます。長らくのご利用、誠にありがとうございました。

昨今確認されているフィッシング詐欺・不正アクセス等を防止する観点から、バックアップサイトの利用を、2025/5/30(予定)をもって終了いたします。以降は当社WEBサイト(メインサイト)、HYPER SBI 2、SBI証券 株アプリ等の他ツール・アプリをご利用くださいますようお願い申し上げます。ご利用されているお客さまにおかれましては、ご不便をおかけいたしますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。なお、同一商品のツール・アプリを複数ご利用いただくことで、原則システム障害発生時の代替手段にもなります。

ツール・アプリ

また、バックアップサイトの「登録銘柄」につきまして、「ポートフォリオ」へのデータ移行は行われませんので、ご自身で「ポートフォリオ」へご登録いただきますようお願い申し上げます。

ポートフォリオについて

登録銘柄(ポートフォリオ)のリスト共有について

SBI証券の告知

● 「Microsoft Authenticator」のパスワード保存機能、6月以降段階的に終了



<https://forest.watch.impress.co.jp/docs/news/2012227.html>

<https://support.microsoft.com/ja-jp/account-billing/09fd75df-dc04-4477-9619-811510805ab6>

このニュースをザックリ言うと…

- 4月25日(現地時間)、マイクロソフト(MS)より、スマートフォン(Android・iOS)向けアプリ「[Microsoft Authenticator](#)」のパスワード保存機能を6月以降段階的に終了すると発表されました。
- 6月以降、Authenticatorにおいて新規パスワードが保存できなくなり、7月中に自動入力機能が終了、8月以降は保存されていたパスワードへのアクセスもできなくなるとしています。
- Authenticatorに保存したパスワードはMicrosoftアカウントにも同期保存され、その他ワンタイムパスワード(TOTP)やパスワードについては引き続きサポートされるとのことです。

AUS便りからの所感



- Microsoft Authenticatorよりも先行し、人気があるとみられる他のパスワード管理ツールにもパスワード・TOTP・パスキーを全てサポートするものがありますが、窓の杜の記事においては、Microsoft Authenticatorは今後Microsoftアカウントのパスワードレスサインインと多要素認証への特化にシフトするものと推測されています。

- MSではSkypeも5月5日に終了しています(<https://forest.watch.impress.co.jp/docs/news/2011686.html>)が、個人ないし組織で使用している各種ツールにおいてサポートが終了することを把握し、適宜移行を計画することは、セキュリティ上の可用性等の維持においても大切なことと言えます。

パスワード自動入力機能は廃止へ、認証アプリ「Microsoft Authenticator」が再編

今後パスワードを確認したい場合は「Edge」の利用を

梅井 秀人 2025年5月7日 15:58

「Microsoft Authenticator」のパスワード自動入力機能(オートフィル)が廃止されるとのこと。米Microsoftは4月25日(現地時間)、自社のサポートサイトで明らかにした。

自動入力の廃止スケジュールは、以下の通り。

- 2025年6月以降: 「Authenticator」で新しいパスワードを保存できなくなる
- 2025年7月中: 「Authenticator」で自動入力を使用できなくなる
- 2025年8月以降: 「Authenticator」で保存したパスワードにアクセスできなくなる

● Chrome 136・Firefox 138リリース、セキュリティアップデート含む



<https://forest.watch.impress.co.jp/docs/news/2010997.html>

https://chromereleases.googleblog.com/2025/04/stable-channel-update-for-desktop_29.html

<https://forest.watch.impress.co.jp/docs/news/2010800.html>

このニュースをザックリ言うと…

- 4月29日(現地時間)、Googleより、Chromeブラウザのメジャーアップデートとなるバージョン136(Windowsではv136.0.7103.48/49)がリリースされました。
- 各種新機能の追加とともに、脆弱性については特に危険度の高い11件(CVE-2025-4096)を含む8件が修正されています。
- 同日にはFirefoxブラウザもメジャーアップデートとなるバージョン138.0がリリースされ、11件の脆弱性修正等が行われています。

AUS便りからの所感

- 現在、Chromeは5月6日リリースのv136.0.7103.92/93、Firefoxは5月1日リリースのv138.0.1が最新であり、またいずれも概ね毎週水曜日(日本時間)を中心にメジャーアップデート・セキュリティアップデートがリリースされています。

- Chrome・Firefoxとも自動更新機能を備えていますが、バージョンを確実に保つためには、前述したアップデートリリース時期を意識しつつ、ブラウザの起動後に「ヘルプ」から「Google Chromeについて」「Firefoxについて」を開いて最新バージョンを確認する習慣をつけることを是非とも心掛けましょう。



「Google Chrome 136」が公開 ~新しい静的メソッド RegExp.escape() を導入
セキュリティ関連の修正は全8件

梅井 秀人 2025年4月30日 16:03

セキュリティ関連の修正は全8件。そのうちCVE番号が公開されている脆弱性は、以下の4件だ。深刻度は最大で「High」と評価されている。

- CVE-2025-4096 : Heap buffer overflow in HTML
- CVE-2025-4050 : Out of bounds memory access in DevTools
- CVE-2025-4051 : Insufficient data validation in DevTools
- CVE-2025-4052 : Inappropriate implementation in DevTools

「Firefox 138」が正式リリース ~新しいプロファイル管理機能を展開開始

セキュリティ関連の修正は11件

梅井 秀人 2025年4月30日 10:34

セキュリティ関連の修正は、11件。深刻度の内訳はMozillaの基準で4段階中上から2番目の「High」が4件、3番目の「Moderate」が6件、最低の「Low」が1件となっている。特権昇格やメモリ破損、プロセス分岐のバイパス、任意コードの実行などにつながる可能性があり、できるだけ早いアップデートが必要だ。